



## 日本が直面する多文化共生問題を振り返って

小澤 亘

モアネットが設立されて、今春で15年が経ちました。ボランティア組織としては、すでに立派な壮年です。地道なボランティア活動を通じて、モアネットは多文化共生の実現に向けて貢献してきたのです。さて、この機会に、昨年6月の入管データ（単位：人）を使って、日本における多文化共生問題の一側面を振り返っておきましょう。下の表は、世代別に見た総外国籍人口と人口の多い5か国のデータです。

65歳以上人口に注目すると、オールドカマーと称される韓国・朝鮮籍の方たちが、依然として大きな比重を占めていることが分かります。次いで中国籍の方が続きます。さらに、1990年入管法改訂に伴い、ブラジルから渡ってきた日系ブラジル人（いわゆるニューカマー）の方たちも、すでに1万人ほどが高齢期を迎えていることが分かります。

モアネットは、民生委員制度の不備を補うために、「多文化福祉委員」制度を提言してきましたが、その先見の明はいよいよ重要性を増しており、全国に発信していくべき時機にきていると言えるでしょう。その際、NPO法人「みのりのもり劇場」とコラボしたジョイントーク寸劇のビデオは大いに活用できると思われます。

上の表から、もう一つ明らかなことは、学齢期に当たる6歳～18歳の外国籍人口も、高齢者とほぼ同じ19万人レベルに達していることです。2万3000人の在日コリアンの子どもたちを除いた17万人の内訳ですが、なんと2万人余りが義務教育課程における不就学児童生徒！この規模は、先進国としては、驚くべきレベルです。公立学校に在籍し、日本語の学習困難に直面する外国人児童生徒は4万人。あと、その他の

国籍	国籍別人口	6-18歳人口	65歳以上人口
中国	801,357	61,761	24,366
韓国・朝鮮	464,486	23,344	129,407
ベトナム	427,367	8,559	1,071
フィリピン	282,649	23,392	3,877
ブラジル	211,495	31,688	9,996
総合計	2,951,365	194,667	197,083

公立学校、私立学校、外国人学校の在籍者、そして、中卒労働者（現在は、その多くが失業者？）という状況です。高校進学できない日系ブラジル人生徒は、50%程度に昇るとも言われています。外国人児童生徒たちも、言葉の壁、制度の壁、そして、文化の壁にあいかわらず苦しんでいるのです。こうした外国人児童生徒の教育問題は、世代間の貧困の連鎖の主要な原因ともなっています。

コロナ禍のため、昨年春に中止となったモアネットの講座では、大阪や滋賀で外国人児童生徒の支援に取り組んでこられた金光敏さんを迎える予定でした。金光敏さんは、自らの学校時代のつらい経験をきっかけとして、ニューカマー児童の教育・生活支援に積極的に取り組まれてきたとのこと。コロナ禍が収束して、一日でも早く、こうした企画が復活する日が来ることを祈念したいと思います。じつは、私も2008年ごろからDAISYというユニバーサルデザインのデジタル図書を活用して、外国人児童生徒の学習支援活動を行ってきました。次回の講座では、私からもそんな情報提供ができれば良いなと思っています。

### ●多文化福祉委員とは

外国にルーツのある高齢者や障害のある方を対象に、関係機関や家族、ご本人からの依頼に応じて、ご自宅を訪問、あるいは電話や来所にて相談をお聞きし、活動を行います。

外国語ができなくてもOK。日本に長年滞在されていて、日本語がわかる方も多くおられます。

文化的背景がちがうため、日本の制度が分からなかったり、難しい日本語が理解できないため、生活に困ることがあります。

★交通費程度の活動費が支給できます。

★簡単な講座を受けていただき、登録の上、必要時に活動いただきます。

### ●活動内容

①電話相談：電話でご相談をお聞きます

②傾聴活動：来所や自宅にてゆっくりお話をお聞きます

③その他の支援：既存のサービスや制度ではまかなえない部分の支援～病院や役所などの手続きを一緒におこないます

④通訳：医療機関や役所等で、ご本人の意見や思いを通訳し、安心して利用できるようお手伝いします

★★文化的背景がちがっても、自分らしく生きる  
ことのできる生活を応援します～

# 多文化福祉委員（一部）の活動紹介



**葛檀 (ちえがる・たん)**

現在、15人のコリアン高齢者宅に定期訪問しています。行政とタイアップして（助成事業として）在日コリアンを支援する形は全国でもない画期的な事業。自分も同じ高齢者だが、できる限り続けていきたいです。



**全将行 (ちよん・じゃんへん)**

同胞生活センターで活動しつつ、3年前からモアの活動を始めました。コロナ禍で高齢者たちが外出しにくい中、待ってられるコリアン同胞のため、訪問して話を聞くことが大事だと感じています。知識や経験が少なくても、自分にできることを続けたいです。

**下嘉娜 (びょん・かな)**

今、山科の障がい者生活支援センターで仕事をしており、韓国ルーツの人、ネパール人の支援をしています。モアのお茶会に参加して、これから関係作りをしていきたいです。



**佐川 嘉奈子**

(さがわ・かなこ)

一人のコリアン高齢女性と長年関わっています。数年前から息子夫婦と同居することになり、自宅を訪問しています。私の訪問を家族も受け入れてくれていて、家族からも話が聞けてうれしいです。



多文化福祉委員 お茶会のようす



**井上 朋子**

(いのうえ・ともこ)

障がいのあるコリアン女性宅を訪問。寂しい、来てくれてうれしいと言ってくれました。話を聞きつつ、本人のストレス発散方法を一緒に考えて、落ちついてもらえました。本人の笑顔を見ると自分も元気になります。その他、89歳のコリアン男性の散髪同行や、ニューカマー女性の書類の手伝い、話し相手をしています。



**山口 恵子 (やまぐち・けいこ)**

介護が必要な独居のアメリカ人男性宅を訪問しています。本人も介護者もコミュニケーションを取れず困っていました。彼の友人が書いた、彼の人生についてのエッセイを私たちが見つけたので朗読したら、昔自分が元気だったころのことを彼が思いだし、みなど大いに盛り上がりました！本人の歴史を通して、立体感をもって彼のことを知れました。



**鄭明愛**

(ちおん・みよんえ)

コリアン女性に、関係機関や家族と連携しながら、話を聞いています。

# こんな風に、こんな思いで活動(参加)しています!



## 南 珣賢

(なむ・すんひょん)

在日コリアン男性と死別した韓国人女性の支援。本人の思いを大事にしなが、住宅・福祉・行政機関との間で通訳

をしています。日本語が話せないニューカマーの支援が増えてきました。

コロナ禍での工夫。電話で安否確認、玄関インターフォン越しの会話、玄関先で安否確認。言葉でのコミュニケーションが困難な人はこちらの表情を見ているため、マスクなしで離れて会話することも。

外国にルーツのある人たちが、高齢になったり障がいを持っててもその人らしく生きることができるよう、周りの日本人も一緒に応援していきたいです!

## 村木 美都子 (むらき・みとこ)

障がいがあり、同居家族との関係がうまくいかず困っているコリアン女性の支援。家族の思いも聞きつつ、本人と相談しながら、自立に向けて手続きなどを支援。日本語が不十分な韓国の高齢女性は引っ越しを全面的にお手伝い。関係機関と一緒に、応援しています。



## 金 舜詠

(きむ・すにょん)

「サンチュの苗を植えるのが楽しみ。指を使って土をいじると生きている気がする」とハルモニから満面の笑顔がこぼれます。

コロナ禍で外出ができなくなると不安を感じるハルモニのために、サンチュの種を持って行くと大喜び。成長と一緒に楽しんでいます。



## 鄭 英姫

(ちょん・よんひ)

「実の娘だと思って何でも仰ってください。」夫を亡くされ一人暮らしのオモニ。私に出来ることは少ないかもしれませんが、必要としてくれて嬉しいです。いえ、私が嬉しいのです。

## 柴 松枝 (し・そんじ)

コロナ禍で人に会うことが難しい今だからこそ、なお一層モアの活動が貴重だと思います。私はあまり動けないですが、頑張ろうとおもいます。



## 高明愛 (こ・みょんえ)

普段同胞支援をしている中で、お茶会に出て、本人がどんなことにストレスを感じるかを、活動報告を聞きながら知ることができます。今後モアの活動に貢献したいです。



## 2019 年度支援内容

福祉サービス 紹介・指導	介護 保険	受付相談	0
		サービス利用・内容	1
		その他	0
	生活保護	高齢者福祉	0
		障害者福祉	0
		その他の保健福祉サービス	0
		小計	1
相談内容	安否確認	989	
	生活相談	986	
	家族関係相談	349	
	人間関係相談	258	
	生きがい相談(趣味活動)	263	
	ところの相談	366	
	経済面の相談	28	
	言語・コミュニケーションの問題	121	
	民族文化・歴史等の問題	157	
	健康(病気・体調)相談	882	
	栄養食事関連相談	223	
	その他	25	
小計	4647		
関係機関との 連絡調整	福祉事務所	28	
		役所  その他(保健センター・健康保険関係等)	5
	自治会、地域団体など	0	
	民生委員・老人福祉員	0	
	社会福祉協議会	0	
	介護保険関係	100	
	障害福祉関係 その他(ライフライン・業者・家族・近隣住民等)	22 141	
小計	296		
直接対応	緊急 対応	病院・診療所への連絡	3
		警察・消防署出動要請	0
	病院受診同行・入退院手配など	25	
	通訳(医療・福祉・住宅・行政・ライフライン等)	19	
	家事援助	14	
	身体介護	17	
生活支援(外出同行、歌を歌う、手続き代行等)	126		
小計	204		
合計	5148		

# モアパンフ できました!

この度、HAPSの櫻岡聡さんと若手芸術家（デザイナーの井上みなみさん、画家の森夕香さん）のお力を借りて、パンフレットを作成しました！今までは事務局メンバーで作った地味な一色刷りでしたが、ガラッと変わってやさしいイメージに仕上がりました。2021年3月末からこのパンフレットが区役所や地域包括支援センターなどに配布されます。

### 多文化福祉委員の声

**国際活動の様子**

80代で独り暮らしのハラボジ（おじいさん）は、普段、自分のルーツ、韓国について話すことがなく、名前も日本名を使っています。訪問して3年、釜山から来た私の友人と訪問した時、ハラボジが初めて韓国語の歌を口ずさんで、友人がギターと歌で合わせて、ハラボジは背筋をくっつけて通る声で歌い出したのです。帰りにハラボジは優しい顔で自分の韓国名を教えてくださいました。以来、悪戯も減ってシャキッと見えます。私も「父が生きていたらハラボジと同じ年頃だなあ」と思うようになりました。

**出迎状贈呈の様子**

日本語での会話が難しいハラモニ（おばあさん）が入院。手術後身動きができないと不安があったので、日本語と韓国語で書いた「コミュニケーションカード」を作成。「のどが冷たい」がトイレに行きたい「寒気がする」が寒い。ハラモニは安心して手術を受けました。その後は、本人の訴えが伝わるだけでなく、看護師が積極的に聞いてくれ、看護師とハラモニの間で気持ちのやりとりができるようになりました。ちょっとした工夫で人の距離を縮めることができるんですね。

### 多文化福祉委員募集中!

外国にルーツのある方の社会的・歴史的背景や、訪問・傾聴・生活支援活動の意味、多文化福祉委員についての概要説明と、同行訪問など簡単な現場研修を受けて、登録していただきます。語学力は問いません。交通費程度の活動費を支給できます。是非ご一報を!

私たちが多文化福祉委員です

京都外国人高齢者・障がい者生活支援ネットワーク・モア  
Kyoto Elderly Foreigners Support Network "More (Morenet)"  
京都府京都市南区九条北松ノ木町12  
京都コリアン生活センター・モアファーム  
TEL: 075-681-2721 FAX: 075-683-2555  
E-MAIL: kyotomorenet@yahoo.co.jp

京都にお住まいの外国にルーツのある  
高齢者・障がい者のための  
生活見守り・支援活動

# 京都モアネット

外国人にルーツがある方の  
福祉・生活相談ホットライン  
**075-681-2721**  
多文化福祉委員制度は京都市の助成事業です。

## モアネットの活動

### 1 相談を受けます

Feel free to contact us  
여러분의 상담 받습니다 提供各种咨询服务

- ・役所や福祉サービスの申し込みが難しく分からない
- ・病院や銀行などで言葉がうまく伝わらない
- ・生活に困っているがどこに相談していいかわからないなど、まずはご相談ください。

### 2 お話(思い)をお聞きます

We will listen to your need (your feeling)  
여러분의 이야기 듣습니다 傾聴您的煩惱

話を聞いてくれる人が他にいない、寂しい...という方や、見守りをしてほしい、時々様子を見て行って欲しい、という家族の方の思いに対して、定期的にご自宅を訪問して、お話をお聞きます。

外国にルーツのある方々の生活の違いを理解してもらって啓発活動をしています

外国にルーツのある方には、日本人と変わらないように見えても、文化や生活スタイルの違いを通して、オモニ（お母さん）の思いを聞き、新たに出会っていく過程を劇にしています。

### 3 地域住民とつながります

We will support you to connect with local community and services  
지역과 연대해 나가겠습니다  
为您寻找与其他小区居民的交流平台

地域の方々と一緒に、外国にルーツのある人と日本人が安心して暮らせる関係づくりをお手伝いします。

## モアネットとは

外国にルーツのある高齢や障がいのある人の中には、日本語を忘れてたり、日本語を話せても、細かいやりとりができずに困っている人がいます。周りの人がちょっと声をかければ、安心して話してくれるかもしれません。外国ルーツの人たちと出会い、互いを知って、助け合える地域社会をつくりましょう。

### モアネットとは

外国にルーツのある高齢や障がいのある人の中には、日本語を忘れてたり、日本語を話せても、細かいやりとりができずに困っている人がいます。周りの人がちょっと声をかければ、安心して話してくれるかもしれません。外国ルーツの人たちと出会い、互いを知って、助け合える地域社会をつくりましょう。

**YOUTUBE**  
劇を映像でご覧いただけます。  
[https://youtu.be/r\\_zl84vyhW0](https://youtu.be/r_zl84vyhW0)

**FACEBOOK**  
日々の記録や、お知らせを発信しています!  
<https://www.facebook.com/100333351959833/posts/100424328617402/>

### ※一般社団法人HAPS（はっぴす）

HAPSは、個人の生き方と社会のありかたを組み替え、文化芸術が最大限のポテンシャルを発揮できる環境を京都市に作り出すことを、その目標としています（HPより抜粋）



### YOUTUBE

劇を映像でご覧いただけます。  
[https://youtu.be/r\\_zl84vyhW0](https://youtu.be/r_zl84vyhW0)



### FACEBOOK

日々の記録や、お知らせを発信しています!  
<https://www.facebook.com/100333351959833/posts/100424328617402/>

## 2019年度 活動報告

### 1. 多文化福祉委員派遣事業

登録している多文化福祉委員が以下の生活支援活動を行いました。電話で相談を受けて情報提供するほか、関係機関からの依頼で、自宅を訪問し、安否確認や、話し相手、傾聴、近隣住民との関係づくり、生き甲斐支援等を行いました。また、定期訪問が必要で、孤立しがちな人については、介護保険事業所やその他の関係機関と連携しながら見守りを行いました。そのほか、日本語が話せない人には、医療・福祉・住宅関係者への通訳や、母国語での傾聴・話し相手を行いました。2019年度は、17人の福祉委員が72人に対して1143件の生活支援活動を行いました。対象者は、コリアン（オールドカマー 64人、ニューカマー 6人）、アメリカ人1人でした。その他、関係機関からの相談として、アメリカ人のケース2件があり、外国ルーツの人の支援方法について話し合いました。

### 2. 多文化福祉委員の研修

多文化福祉委員は毎月1回「お茶会」の場で、活動報告・情報交換を行い、福祉サービスに関する学習を行いました。

きょうと多文化支援ネットワークホームページ <http://www.kcif.or.jp/HP/jigyo/katsudo/jp/shien-net/>

### 3. 多文化福祉委員活動の整備・充実化に向けて

3月に第13号通信を発行しました。運営委員会は随時行い、大学研究者も含め、活動の充実化に向けて話し合いました。

また、総会では、運営委員と多文化福祉委員が集まり、今後徐々に増加するであろう、日本語でのコミュニケーションが困難な外国ルーツの高齢者への支援に向けて、関係機関との連携や情報交換を継続することを確認しました。

### 4. 外国籍住民理解に向けての啓発活動

3月に予定していた「つながるフォーラム part 2」は、コロナウィルス感染拡大防止のため、急遽中止になりました。

### 5. 他の外国人支援団体との連携

京都市国際交流協会の「きょうと多文化支援ネット」や「ハナネット」に事務局メンバーが参加し、事業協力、外国籍市民や在日コリアン支援グループと情報交換を行いました。

9月にきょうと多文化支援ネット主催で行った、グローバルセッション、「子どもの育ちと親の言葉」に協力し、外国ルーツの親と子どもそれぞれから経験や想いを発表してもらい、グループワークを行いました。

## 15回 総会報告

2020年8月27日、京都市地域・多文化交流ネットワークサロンで行いました。今回は、コロナ禍でもあり、運営委員と多文化福祉委員のみで集まりました。

事務局から、事業・会計報告、事業計画・予算案を説明し、承認を受けたあと、参加した福祉委員から一言ずつ最近の活動について報告しました。

鄭事務局長からは、モア設立当初は在日コリアン一世からの年金関係の電話相談や英語圏の人からの相談もあった。中京区役所で養成講座を実施し多数の福祉委員を養成したが事務局体制が追い付かず、活動がゆるやかになった時期もあった。最近は大に先立たれたニューカマーのコリアン女性の支援が増えている。国籍もコリアンだけでなく、アメリカ人、ネパール人の相談があると報告がありました。

1事例として、嫁として日本に渡ってきて、夫を亡くしたコリアン「ニューカマー」1世の課題は多岐にわたり、さまざまな理由で夫の家族から支援が得られず、夫の死後の手続きに加えて、住宅問題や金銭的な問題もあり、通訳し、他機関と連携しつつ、今もモアが支援を続けていると、多文化福祉委員より報告されました。

長年行っている見守り支援については、コロナ禍で、長時間の訪問ができない場合も、玄関口や電話での安否確認を行い、家族とも連絡のやりとりを行ってきました。

今年度はコロナの影響で、多人数での学習会などが行えないため、パンフレットを作成して、啓発・広報活動を行うこと、多文化福祉委員の活動は感染予防をしつつ、継続することを確認しました。

最後に、運営委員の小澤先生より、現在、日本語が読めない外国ルーツの子どもたちのために、「DAISY (Digital Accesible Information System) 教科書」作成に向けて、国との協議がされていることの報告がありました。来年度にはDAISY教科書を学校現場で使えるようになるとのことでした。

日本語が話せない・読めないなどによって基本的な生活が脅かされないための取り組みはあちこちで行われており、モアネットも他機関とさらに連携していきたいと考えています。(事務局・村木)



総会のようす

## 京都モアネット役員

## 【顧問】

小澤 亘 (立命館大学教授)  
 田中 宏 (一橋大学名誉教授)  
 仲尾 宏 (京都芸術大学客員教授)  
 水野直樹 (立命館大学文学部客員教授)  
 金政弘 (大韓国民団京都府地方本部団長)  
 金尚一 (朝鮮総連京都府本部委員長)  
 鄭禧淳 (NPO法人京都コリアン生活センターエルファ最高顧問)

## 【共同代表】

加藤博史 (龍谷大学名誉教授)  
 紫松枝 (朝鮮総連京都府本部常任委員)  
 金周萬 (大韓国民団京都府地方本部)  
 朴錫勇 (札の辻診療所所長、  
 NPO法人京都コリアン生活センターエルファ理事長)

## 【運営委員】

加藤博史 (兼任)  
 紫松枝 (兼任)  
 金周萬 (兼任)  
 朴錫勇 (兼任)  
 岡野英一 (龍谷大学教授)  
 金洋子 (たんぼぼ助産院顧問)  
 宋基和 (大韓国民団京都府地方本部南支部副団長)  
 南珣賢 (NPO法人京都コリアン生活センターエルファ理事)  
 高明愛 (朝鮮総連京都府本部権利福祉部副部長)  
 石川久仁子 (大阪人間科学大学准教授)  
 村木美都子 (NPO法人東九条まちづくりサポート  
 センターまめもやし事務局長)

## 【会計】

金洋子 (兼任)

## 【会計監査】

叶信治 (希望の家カトリック保育園園長)

## 【事務局長】

鄭明愛 (NPO法人京都コリアン生活センターエルファ理事)

## 【事務局員】

南珣賢 (兼任)  
 鄭英姫 (女性同盟京都府南支部組織部長)  
 木村理恵 (朝鮮学校と民族教育の発展をめざす会  
 ・京滋「こっぼんおり」事務局)  
 村木美都子 (兼任)

京都外国人高齢者・  
障害者生活支援ネットワーク・モア収支報告書

(2019年4月～2020年3月)

(単位:円)

科目	金額	
1. 収入		
京都市助成金		1,120,000
賛助寄付金	380,000	
会費	23,000	
団体会費	0	403,000
預金利息	29	0
雑収入	0	29
当期収入合計 (A)		1,523,029
2. 支出		
1) 福祉委員派遣事業に係る費用		
・報酬費	567,000	
・上記に関する交通費	98,570	
・連絡調整費	222,700	
・通信費	53,773	
・事務費	8,628	
・賃借料	600,000	
・雑費	3,509	1,554,180
2) 福祉委員養成		
・活動費	246,920	
・交通費	2,896	
・事務費	0	
・雑費	0	249,816
3) ネットワーク強化		
・活動費	124,282	
・事務費	8,800	
・交通費	2,440	135,522
4) 啓発事業		
・講師料	0	
・活動費	8,400	
・事務費	370	
・交通費	3,750	
・通信費	13,440	
・雑費	1,608	27,568
当期支出合計 (B)		1,967,086
当期収支差額 (A) - (B)		-444,057
前期繰越額		2,186,134
次期繰越額		1,742,077

〒601-8022 京都市南区東九条北松ノ木町12  
 京都コリアン生活センターエルファ内

京都外国人高齢者・障がい者生活支援  
 ネットワーク「モア」(京都モアネット)

TEL 075-681-2721 / FAX 075-693-2555

E-mai kyotomorenet@yahoo.co.jp

郵便振替口座: 00990-4-314429

加入者名: 京都外国人高齢者障害者生活支援ネットモア

♡支援カンパよろしくお願ひします♡

## 編集後記

▼コロナウイルスに翻弄されながらもなんとか1年乗り越えられました! ▼訪問しないほうがいいのか…と悩みましたが、対象のみなさんは、私たち以上に不安で寂しい思いをされていました。こんな時だからこそ、感染予防しつつ、しゃべって、ちょこっと笑って、免疫力アップ! ▼人のつながりはどんなことがあっても切ってはいけません。▼パンフ・機関紙を一新♡いかがですか? 「つながるフォーラム part II」、今度は小規模でできるかな。 (むらき)